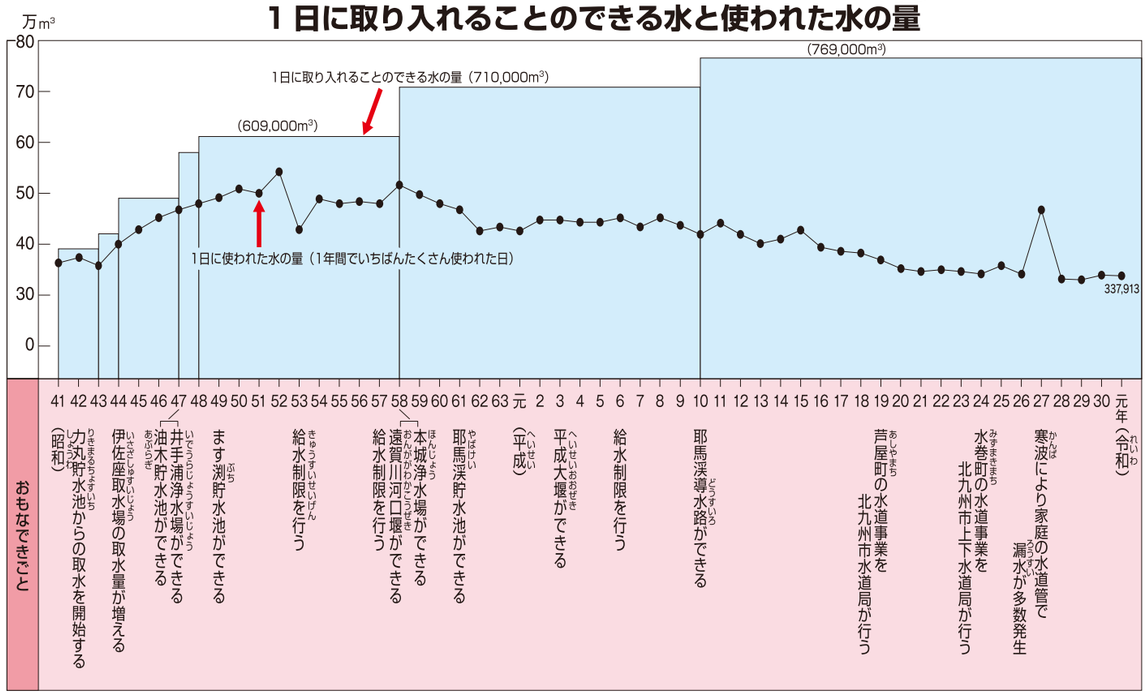
6 水をもとめて

1日に取り入れることのできる水と使われた水の量



くらしが便利になるにつれて、わたしたちは、たくさんの水を使うようになってきました。水を生み出すためには、貯水池や堰が必要になりますが、それには、長い年月がかかります。そこで、みなさんが安心して水が飲めるように、10年先、20年先のことを考えながら貯水池などをつくってきました。

遠賀川河口堰

●水をつくる

水道の水は、上下水道局の人たちの働きによってつくられたものといえます。また、水道の水は、人の命に直接かかわる大切なものです。それだけに、いつでも、どこでも安全に使える水でなくてはなりません。

そのもとになる川や貯水池の水をよごさないようにしましょう。

安全な水道水をつくるための検査

スイッピーの『知ってるかな？』コーナー

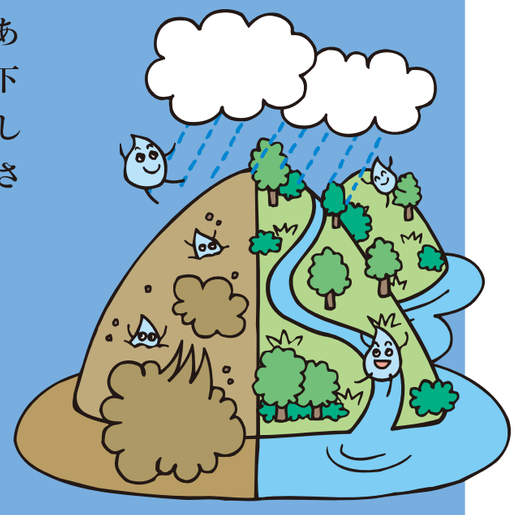
森は自然のダム　水と森とは、切っても切れない関係

森は水をためるダムの働きをしています。森にふった雨は、木のみき、枝、葉、土などにスポンジのようにためられ、たまった水はやがて川へと流れていきます。このため、雨の少ない季節でも川には水が流れ、わたしたちはその水を利用することができるのです。森を大事にすることは、くらしに必要な水を守っていくためにも大切なことなのです。

北九州市の水道水の約80％は、市外の町にある貯水池や川の水をもとにつくられています。上下水道局では、水源地に住んでいる人たちと協力して、水道の恵みを与えてくれる森づくりのためにさまざまな行事を行っています。

植樹

下草刈り



★指導上の留意点★
水源開発は、10年、20年後の水事情の見通しが必要であり、水確保の対策が計画的に行われていることに目を向けさせてください。